

## 第8回社会福祉法人おおすぎ実践報告会のご案内

平素より当法人の運営に多大なご協力とご理解を頂き誠に有難うございます。

さて、今年度も昨年度同様、同業の事業者・相談機関等を対象に個別ケースの実践を報告させていただきます。私どもが個別のケースを通して学んできたことを皆様と共有できればとの思い、また、皆様よりご指摘やご指導を仰ぎながらより良い支援を目指していければとの思いから企画致しました。未熟な報告になることをお許し頂きご参加願えましたら幸いです。

### 【報告内容】

#### ◆三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ 本地 知加子

「就労継続に困難さがあり、診断を受けた男性の障害者雇用に向けた支援」

一般就労が継続できにくく社会生活において生きづらさを抱えるようになり、二次障害による病院受診から発達障害の診断を受けた男性の支援として、関係機関が連携し障害者雇用の内定を確保するまでの支援の経過について報告させていただきます。

#### ◆城山れんげの里 障害児通所支援事業 中嶋 麻衣

「放課後等デイサービスにおける児童期から青年期に向けた支援」

城山れんげの里児童デイサービスには、地域の小学校に通学している児童が多くいます。一人ひとりにあった支援を模索しながら子どもたちとのかかわる中で、児童期から青年期に向けての課題がみえてくるようになりました。新たに始めた高学年向けのグループの中で生き活きと話しをしながら、自分と向き合おうとするAくんの事例を中心に報告させていただきます。

#### ◆れんげの里 施設入所支援 片岡 るみ

「安心感を得るための支援」

日常生活において、強いこだわりが見られるAさんに対し、気になっていることをただ制止してしまうのではなく、Aさんの気持ちに寄り添い、安心感を得られるように支援を提供することで、衝動性のコントロールと、こだわり行動が緩和した事例を報告させていただきます。

#### ◆城山れんげの里 施設入所支援 佐伯 貴史

「本人主導で行なっている（変わっていく）こだわり行動への対応」

日々の生活の中で気になる事が多いAさん。10年間の城山れんげの里での生活の中で様々な「こだわり行動」がありました。職員からの介入に対しては拒否感が強く、自身のやり方ではないと納得出来ない様子でした。その中で職員の介入で上手く切り替わる事が出来た例、上手くいかずAさんを怒らせてしまった例等を報告させていただきます。

【日時】 2月4日（日） 13:00～16:00

【会場】 城山れんげの里 地域支援棟研修室

※駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせの上、お越し頂きますようお願いいたします。

【参加費】 無料

【主催】 社会福祉法人おおすぎ

※問い合わせ先 城山れんげの里（井村・田畑） TEL：059-238-0001

【申込先】 城山れんげの里

※申し込みはFAX またはメールでお願いいたします。

FAX：059-234-6144 eメール：[shiroyamarenge@zb.ztv.ne.jp](mailto:shiroyamarenge@zb.ztv.ne.jp)

---

## 参加申込書

### 第8回社会福祉法人おおすぎ実践報告会

平成 年 月 日

お名前	所属先及び住所	連絡先(電話等)	備考
フリガナ	所属先 〒		
フリガナ	所属先 〒		
フリガナ	所属先 〒		

\*お申込みは、1月28日（日）までお願いいたします。